

情報活用能力の体系表（汐入小学校）※今後変更していく予定です。

令和3年10月26日版

資質		分類		1・2年生		3・4年生		5・6年生		学習内容		
A 知識及び技能	1	情報と情報技術を適切に活用するための知識と技能	① 情報技術に関する基本操作の技能	a	コンピュータの起動や終了、写真撮影などの基本操作ができる ソフトキーボードなどによる文字の正しい入力ができる	キーボードなどによる文字の正しい入力ができる	キーボードなどによる文字の正確な入力ができる	基本的な操作	プログラミング			
				b	電子ファイルの呼び出しや保存ができる	電子ファイルの呼び出しや保存ができる	電子ファイルのフォルダ管理ができる					
				c	画像編集・ペイント系アプリケーションの操作ができる	プレゼンテーションソフトの基本的な操作ができる	目的に応じたアプリケーションの選択と操作ができる					
				d		インターネット上の情報の閲覧・検索ができる	インターネットや印刷物等により適切な情報を集めることができる					
			② コンピュータの活用やプログラミングについての理解	a	身近な生活の中でコンピュータが活用されていることに、指摘により気付く	身近な生活の中でコンピュータが活用されている場面を見だし、その仕組みに関心をもつ	身近な生活の中でコンピュータが活用されている場面を見だし、その仕組みを考える					
				b	コンピュータはプログラムで動いていることを知る	コンピュータの動作とプログラムの関係を知る	プログラムとは手順を自動化したものであることを知る					
			③ 動作のための順序や手順についての理解	a	大きな事象は小さな事象に分けられることに気付く	大きな事象は小さな事象の組合せであることを知る	大きな事象を解決可能な小さな事象に分解できることを理解する					
				b	コンピュータには明確な手順を命令する必要があることを知る	条件を満たすまで動作を続ける場面があることを知る（繰り返し処理）	条件により動作が変化する場面があることを知る（条件分岐処理）					
				c	身近なことに順序があることを知る（順次処理）	順次処理や繰り返し処理を組み合わせ、コンピュータに意図した処理を行うための指示を出す体験をする	順次処理や繰り返し処理、条件分岐処理を組み合わせ、コンピュータに意図した処理を行うための指示を出す体験をする					
	2	問題解決・探究における情報活用の方法の理解	① 情報収集、整理、分析、表現、発信の理解	a	身近なところから様々な情報を収集する方法を知る	調査や資料等による基本的な情報の収集の方法を知る	集めた情報を理解し、共通点や相違点を話し合い、整理する	問題解決・情報活用における	情報セキュリティ			
				b	簡単な絵や図を用いた情報の収集の方法を知る	インタビューやアンケートなど、自ら情報を得る方法を理解する	様々なデータを、コンピュータを用いて表やグラフに整理する方法を理解する					
				c	相手に伝わるようなプレゼンテーションの方法を理解する	相手や目的を意識したプレゼンテーションの方法を理解する	自他の情報を組み合わせ、目的を意識したプレゼンテーションの方法を理解する					
				d	メディアによる情報の伝え方の特徴を知る	メディアによる情報の伝え方の違いに気付く	メディアによる特徴や違いを理解したうえで、ICTを活用して情報を共有したり、話し合いの際に根拠を示したりできる。					
			② 情報活用の計画や評価・改善のための理論や方法の理解	a	問題解決における情報の大切さを知る	目的を意識して情報活用の見通しを立てる手順がわかる	問題解決のための情報及び情報技術の活用の計画を立てることができる					
				b	情報の活用を振り返り、よさを確かめる	情報の活用を振り返り、改善点を見いだす手順がわかる	情報及び情報技術の活用を振り返り、効果や改善点を見いだすことができる					
	3	情報モラル・情報セキュリティなどについての理解	① 情報技術の役割・影響の理解	a	情報技術発達の歴史を知り、情報技術のよさに気付く	ネットワークやコンピュータが日常生活に欠かせない物になったことを理解する	情報技術の特徴に合わせた利用の方法や基本的な仕組みを理解する	情報セキュリティ	情報セキュリティ			
				b	情報技術の利用が健康を害することを知る	情報技術のもたらす心身への影響と節度ある使い方を理解する	情報技術のもたらす心身への影響について理解し、ルールや節度を守って利用する					
			② 情報をやり取りする上での基本的な態度や考え方	a	人の作った物を大切にすることや他者に伝えてはいけない情報があることを知る	個人情報保護や著作権について理解し、守ろうとする	個人情報保護や著作権について理解し、守ろうとする					
b				インターネット上には誤った情報があることを知る	インターネット上の適切な行動を知り、判断する	誤った情報や危険な情報があること、ルール、マナーに反する行為を知り、適切に判断し行動できる						
c				コンピュータなどを利用するときの基本的なルールを知る	コンピュータウイルスの危険性を理解する	セキュリティ対策について基本的な方法を知る						
B 思考力・判断力・表現力等	1	問題解決・探究における情報活用する力（プログラミング的思考・情報モラル・情報セキュリティを含む）	① 必要な情報を収集、整理、分析、表現する力	a	身近なところから課題に関する様々な情報を収集し、簡単な絵や図、表やグラフなどを用いて、情報を整理する	必要に応じた情報収集や整理を行い、対象についての分析を行うことができる	対象についての分析から考察し、導き出された意見や考えをまとめることができる	問題解決・情報活用における	プログラミング	情報セキュリティ		
				b	必要な情報を分析し、自分の言葉でまとめる	問題解決に必要な情報を選択し、分析、再考をして解決策を見付けることができる	情報交換や共有を行う際に、発信者の意図を理解し、適切に応答することができる					
				c	相手を意識し、分かりやすく情報を発信することができる	表現方法を相手に合わせて選択し、相手や目的に応じ、自他の情報を組み合わせ、適切に表現する	目的や意図に応じて複数の表現手段を組み合わせ、聞き手とのやりとりを含めて効果的に表現する					
			② 新たな意味や価値を工夫して見いだす力	a	他者の意見や考えを共有・情報交換し、新たな意味や価値を見いだすことができる	他者の意見や考えを共有・情報交換し、推論をして伝え合うことができる	情報の傾向と変化を捉え、類似点や規則性を見付け、他との転用や応用を意識しながら問題に対する解決策を考察する					
				b	自分の意見や考えと他者の意見や考えを比較することができる	自分を含めた複数の情報や考え方を精査し、導き出される新たな意味や価値についてまとめることができる	導き出された新たな意味や価値について再度精査し、創造力や言語力や協働能力などの相互作用の力を高めることができる					
			③ 自らの情報活用を評価・改善する力	a	問題解決における情報の大切さを意識しながら情報活用を振り返り、よさに気付くことができる	自らの情報の活用を振り返り、手順の組み合わせをどのように改善していけばよいのかを考える	情報及び情報技術の活用を振り返り、改善点を論理的に考える					
	C 学びに向かう力・人間性等	1	問題解決・探究における情報活用の態度	① 多様な情報を検討し、考えを発信しようとする態度	a	情報に対し、自分の思いや考えをもつことができる	情報に対し、自分の思いや考えを広げることができる	情報に対し、自分の課題と結び付けたり、自分の考えを深めたり、多様な情報と比較・検討したりすることができる	問題解決・情報活用における	プログラミング		
					b	情報に対する感想の相違点、類似点に気付くことができる	思考ツールを使って、多様な情報を発信することができる	情報からの多様な見方・考え方を生かして、整理したり創造的な解決策を見出したりすることができる				
② 試行錯誤し、計画や改善しようとする態度				a	発信された情報がどのように伝わっているかを考える	目的に応じて情報の活用の見通しを立てようとする	見通しを立てて計画し、試行錯誤を繰り返して目標を達成する。					
				b	情報の活用を振り返り、できるようになったことに気付く	情報の活用を振り返り、改善点を見いだそうとする	情報及び情報技術の活用を振り返り、より効果的な方法を見いだそうとする					
2		情報モラル・情報セキュリティなどについての態度	① 責任をもって適切に情報を扱うとする態度	a	人の作った物を大切にし、他者に伝えてはいけない情報を守ろうとする	個人の権利（プライバシー等）や自他の情報の大切さを踏まえ、尊重しようとする	情報に関する自分や他者の権利があることを踏まえ、尊重しようとする	情報セキュリティ				
				b	コンピュータや図書資料などを利用するときの基本的なルールを踏まえ、行動しようとする	情報の発信や情報をやりとりする場合にもルール・マナーがあることを踏まえ、行動しようとする	通信ネットワーク上のルールやマナーを踏まえ、行動しようとする					
			② 情報社会に参画しようとする態度	a	話し合いの時の情報の伝え方などのルールやマナーについて理解する	情報通信ネットワークを協力して使おうとする	情報通信ネットワークは共用のものであるという意識を持って行動しようとする					
				b	情報や情報技術を生活に活かそうとする	情報や情報技術を生活に活かそうとする	情報や情報技術をよりよい生活や社会づくりに活かそうとする					